

平成21年10月23日

薬事・食品衛生審議会
食品衛生分科会長 岸 玲子 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会長 大野 泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会報告について

平成20年12月4日厚生労働省発食安第1204002号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づくトリフロキシストロビンに係る食品規格（食品中の農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

トリフロキシストロビン

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたこと及び関連企業から「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」(平成 16 年 2 月 5 日付け食安発第 0205001 号)に基づく残留基準の設定要請がなされたことに伴い、食品中のポジティブリスト制度導入時に新たに設定された基準値(いわゆる暫定基準)の見直しを含め、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告をとりまとめるものである。

1. 品目名：トリフロキシストロビン [Trifloxystrobin (ISO)]

2. 用途：殺菌剤

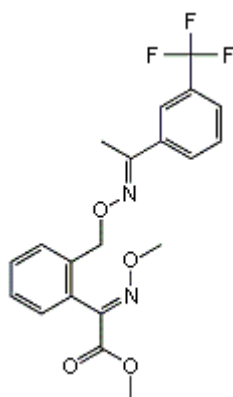
ストロビルリン系殺菌剤である。病原菌の孢子発芽阻止、孢子発芽以降の宿主への侵入阻止や吸器の形成阻止、子座の形成阻止効果が確認されている。

3. 化学名

Methyl (*E*)-methoxyimino-{(*E*)- α -[1-(α, α, α -trifluoro-*m*-tolyl)ethylideneaminooxy]-*o*-tolyl}acetate (IUPAC)

Methyl (αE)- α -(methoxyimino)-2-[[[[1(*E*)-1-[3-(trifluoromethyl)phenyl]ethylidene]amino]oxy]methyl]benzeneacetate (CAS)

4. 構造式及び物性



分子式	C ₂₀ H ₁₉ F ₃ N ₂ O ₄
分子量	408.38
水溶解度	0.610 mg/L (25°C、pH7.6)
分配係数	log ₁₀ Pow=4.5 (25°C、pH7.5)

(メーカー提出資料より)

5. 適用病害虫の範囲及び使用方法

本薬の適用病害虫の範囲及び使用方法は以下のとおり。

作物名となっているものについては、今回農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

また、申請者から、「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」（平成 16 年 2 月 5 日付け食安発第 0205001 号）に基づき、ライ麦、はくさい、にんにく、その他のなす科野菜、未成熟いんげん、ぶどう、かき、キウイ、グアバ、パッションフルーツ、綿実及びコーヒー豆に係る残留基準の設定が要請されている。

(1) 国内での使用方法

25%トリフロキシストロビン水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍率	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	トリフロキシストロビンを含む農薬の総使用回数
てんさい	根腐病	1500 倍	100～300	収穫 21 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
	葉腐病	1500～2000 倍	L/10a				
	褐斑病	400～500 倍	25L/10a				
ぶどう	晩腐病	1000 倍	200～700 L/10a	休眠期	1 回		1 回
きゅうり	うどんこ病	2500 倍	100～400 L/10a	収穫前日まで	3 回以内		3 回以内
りんご	斑点落葉病 褐斑病	1500～3000 倍	200～700 L/10a				
	黒星病 輪紋病 黒点病 すす点病 すす斑病 炭疽病	2000～3000 倍					
茶	炭疽病 輪斑病 新梢枯死病 もち病	2000～3000 倍	200～400 L/10a	摘採 14 日前まで	2 回以内		2 回以内
	褐色円星病	2000 倍					
おうとう	灰星病 炭疽病	2000 倍	200～700 L/10a	収穫 14 日前まで	3 回以内	3 回以内	
もも	灰星病			収穫前日まで			
なし	輪紋病	2000 倍	200～700 L/10a	収穫前日まで	4 回以内	4 回以内	

(2) 海外での使用方法

① E U

(a) 187.5g/L トリフロキシストロビン乳剤

作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	製剤量	希釈水量				
ライ麦	1 L/ha	100-400 L/ha	2回以内	0.375 kg ai/ha	42日前まで (フランス等)	散布
	0.5-1 L/ha	150-400 L/ha			35日前まで (ドイツ等)	

(オーストリア、フィンランド、ドイツ、フランス等で登録)

(b) 125g/L トリフロキシストロビン乳剤

作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	製剤量	希釈水量				
ライ麦	0.5-1 L/ha	200-400 L/ha	2回以内	0.25 kg ai/ha	42日前まで	散布

(フランス、ノルウェー、スウェーデン等で登録)

(c) 500g/L トリフロキシストロビンフロアブル

作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	製剤量	希釈水量				
ライ麦	0.5-1 L/ha	100-150 L/ha	2回以内	0.5 kg ai/ha	42日前まで (フランス)	散布
		200-400 L/ha			35日前まで (ドイツ)	

(ドイツ、フランス等で登録)

(d) 50%トリフロキシストロビン顆粒水和剤

作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	製剤量	希釈水量				
さやいんげん (ドイツで登録)	0.25-0.5 kg/ha	600-1200 L/ha	1回	0.25 kg ai/ha	3日前まで	散布
ぶどう (フランス等で登録)	0.125 kg/hL	100-1000 L/ha	3回以内	1.875 kg ai/ha	35日前まで (スペインでは30日前)	散布

(e) 25%トリフロキシストロビン顆粒水和剤

作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	製剤量	希釈水量				
ぶどう	0.5 kg/ha	600-1000 L	4回以内	0.5 kg ai/ha	21日前まで (ハンガリー)	散布
	0.16 kg/ha	200-1000 L	3回以内	0.12 kg ai/ha	14日前まで (ブルガリア)	
	0.5 kg/ha	1000 L/ha	4回以内	0.75 kg ai/ha	35日前まで (スロバキア等)	

②韓国

(a) 22%トリフロキシストロビンフロアブル

作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	希釈倍数	散布液量				
はくさい	2500倍	150 mL/株	1回	-	移植前	土壌灌注
かき	2000倍	4000 L/ha	4回以内	1.76 kg ai/ha	21日前まで	散布
とうがらし	2000倍	1500 L/ha	3回以内	0.495 kg ai/ha	3日前まで	散布

(b) 50%トリフロキシストロビン顆粒水和剤

作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	希釈倍数	散布液量				
とうがらし	4000倍	1500 L/ha	4回以内	1 kg ai/ha	3日前まで	散布
かき	4000倍	4000 L/ha	5回以内	2.5 kg ai/ha	14日前まで	散布

③ニュージーランド

50%トリフロキシストロビン顆粒水和剤

作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	製剤量	希釈水量				
キウイ	300 g/ha	500-2000 L/ha	1回	0.15 kg ai/ha	開花時	散布

④ブラジル

(a) 187.5g/L トリフロキシストロビン乳剤

作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	製剤量	希釈水量				
コーヒー豆	0.4-0.6 L/ha	250-500 L/ha	3回以内	0.3375 kg ai/ha	30日前まで	散布

(b) 375g/L トリフロキシストロビンフロアブル

作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	製剤量	希釈水量				
コーヒー豆	0.25 L/ha	250-500 L/ha	3回以内	0.3 kg ai/ha	30日前まで	散布

(c) 125g/L トリフロキシストロビン乳剤

作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	製剤量	希釈水量				
棉	0.5-0.6 L/ha	200-300 L/ha	3回以内	0.225 kg ai/ha	21日前まで	散布

(d) 100g/L トリフロキシストロビンフロアブル

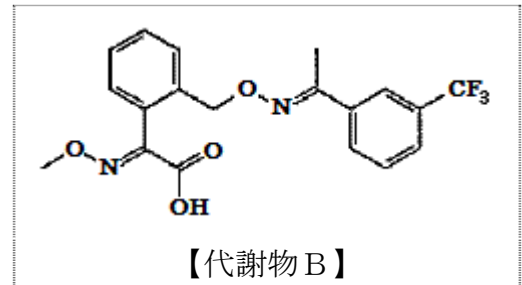
作物名	1回あたりの使用量		本剤の使用回数	栽培期間中の総使用量 (有効成分量)	使用時期	使用方法
	製剤量	希釈水量				
棉	0.6 -0.75 L/ha	200 L/ha	3回以内	0.225 kg ai/ha	21日前まで	散布
		30-40 L/ha				空中散布
にんにく	0.5 L/ha	500 L/ha	3回以内	0.225 kg ai/ha	14日前まで	散布
グアバ	0.5-0.6 L/ha	1000 L/ha	4回以内	0.24 kg ai/ha	20日前まで	散布
パッションフルーツ	0.6 L/ha	500 L/ha	4回以内	0.2425 kg ai/ha	7日前まで	散布

6. 作物残留試験結果

(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

- ・ トリフロキシストロビン
- ・ (E,E)-メトキシイミノ- {2-[1-(3-トリフロロメチル-フェニル)-エチリデンアミノオキシメチル]-フェニル}-酢酸 (以下、代謝物Bという。)



② 分析法の概要

トリフロキシストロビン

水-メタノールで抽出後、ヘキサソージエチルエーテルに転溶する。C₁₈ シリカミニカラム、多孔性けいそう土カラム、シリカゲルミニカラム及び NH₂ シリカミニカラムで精製し、高速液体クロマトグラフで定量する。

代謝物B

水-メタノールで抽出後、ヘキサソージエチルエーテルに転溶する。C₁₈ シリカミニカラム及び MPC ミニカラムで精製し、高速液体クロマトグラフで定量する。

以下、代謝物Bの定量限界及び残留量については、換算係数 1.036 を用いてトリフロキシストロビンに換算した値を示す。

定量限界 トリフロキシストロビン : 0.005~0.05 ppm

代謝物B : 0.005~0.01 ppm

(2) 作物残留試験結果

① きゅうり

きゅうり (果実) を用いた作物残留試験 (2 例) において、25%フロアブルの 2500 倍希釈液を計 3 回散布 (250L, 300L/10a) したところ、散布後 1~7 日の最大残留量^{注)} は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン : 0.268、0.2 ppm

代謝物B : 0.078、0.072 ppm

② りんご

りんご (果実) を用いた作物残留試験 (2 例) において、25%フロアブルの 1500 倍希釈液を計 4 回散布 (600L/10a) したところ、散布後 1~21 日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：1.20、0.813 ppm

代謝物B：0.006、0.01 ppm

③ 茶

茶（荒茶）を用いた作物残留試験（2例）において、25%フロアブルの2000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後14,21日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：2.25、1.46 ppm

代謝物B：未実施

茶（浸出液）を用いた作物残留試験（2例）において、25%フロアブルの2000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後14,21日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：0.08、0.04 ppm

代謝物B：未実施

茶（荒茶）を用いた作物残留試験（1例）において、25%フロアブルの2000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後14,21日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：0.78 ppm

代謝物B：未実施

④ おうとう

おうとう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、25%フロアブルの2000倍希釈液を計3回散布（500L/10a）したところ、散布後14,21日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：0.86、0.96 ppm

代謝物B：未実施

⑤ もも

もも（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、25%フロアブルの2000倍希釈液（600,400L/10a）を計3回散布したところ、散布後1~21日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：<0.02、0.04ppm

代謝物B：未実施

もも（果皮）を用いた作物残留試験（2例）において、25%フロアブルの2000倍希釈液（600, 400L/10a）を計3回散布したところ、散布後1～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：9.10、10.4ppm

代謝物B：未実施

⑥なし

西洋なし（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、25%フロアブルの2000倍希釈液（600L/10a）を計4回散布したところ、散布後1～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：1.94 ppm

代謝物B：未実施

日本なし（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、25%フロアブルの2000倍希釈液（400L/10a）を計4回散布したところ、散布後1～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：1.05 ppm

代謝物B：未実施

⑦てんさい

てんさい（根）を用いた作物残留試験（1例）において、25%フロアブルの1000倍希釈液を計3回散布（100L/10a）したところ、散布後21日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

トリフロキシストロビン：<0.02 ppm

代謝物B：未実施

てんさい（根）を用いた作物残留試験（1例）において、25%フロアブルの1500倍希釈液を計3回散布（150L/10a）したところ、散布後21日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：<0.02 ppm

代謝物B：未実施

てんさい（根）を用いた作物残留試験（3例）において、25%フロアブルの1500倍希釈液を計3回散布（150, 240, 250L/10a）したところ、散布後21日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：0.010、<0.005、<0.005 ppm

代謝物B：未実施

てんさい（根）を用いた作物残留試験（2例）において、25%フロアブルの400倍希釈液を計3回散布（25L/10a）したところ、散布後21日の最大残留量は以下のとおりであった。

トリフロキシストロビン：<0.005、<0.005 ppm

代謝物B：未実施

⑧ぶどう

ぶどう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、25%フロアブルの500倍希釈液を1回散布（500, 300L/10a）したところ、散布後132, 172日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は適用範囲内で行われていない。

トリフロキシストロビン：<0.01、<0.01 ppm

代謝物B：未実施

これらの試験結果の概要については、別紙1-1、海外で実施された作物残留試験成績の結果の概要については、別紙1-2を参照。

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を実施し、それぞれの試験から得られた残留量。

（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に関する意見具申」）

7. ADIの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号及び同条第2項の規定に基づき、平成19年6月5日付け厚生労働省発食安第0605003号により食品安全委員会あて意見を求めたトリフロキシストロビンに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：5 mg/kg 体重/day

（動物種） イヌ

（投与方法） カプセル経口

（試験の種類） 慢性毒性試験

（期間） 1年間

安全係数：100

ADI：0.05 mg/kg 体重/day

8. 諸外国における状況

2004年にJMPRにおける毒性評価が行われ、ADIが設定されており、キャベツ、核果果実等に国際基準が設定されている。

米国、カナダ、欧州連合（EU）、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてアスパラガス、仁果果実等に、カナダにおいてアーモンド、きゅうり等に、EUにおいてライ麦、ぶどう等に、オーストラリアにおいてバナナ、いちご等に、ニュージーランドにおいてかんきつ類、キウイフルーツ等に基準値が設定されている。

9. 基準値案

(1) 残留の規制対象

トリフロキシストロビン本体とする。ただし、畜産物にあつては、トリフロキシストロビン及び代謝物Bをトリフロキシストロビンに換算したものの和とする。

一部の農産物の作物残留試験において、代謝物Bが測定されているが、代謝物Bの残留量は定量限界未満であるか、親化合物に比べて微量だったことから、農産物中の規制対象物質としてはトリフロキシストロビン本体のみとすることとした。

また、畜産物については、JMPRにおいて、代謝試験及び移行試験の結果から、規制対象物質として代謝物Bを含めるという評価がなされ、この評価を受けて、トリフロキシストロビン及び代謝物Bをトリフロキシストロビンに換算したものの和として国際基準が設定されているため、我が国における畜産物の基準値として国際基準を参照するに当たり、規制対象物質についての整合性をとり、代謝物Bを含めることとした。

なお、食品安全委員会によって作成された食品健康影響評価においては、農産物中の暴露評価対象物質としてトリフロキシストロビン（親化合物のみ）と設定されている。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限まで又は作物残留試験成績等のデータから推定される量のトリフロキシストロビンが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量（理論最大1日摂取量（TMDI））のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が

全くないとの仮定の下におこなった。

	TMD I / AD I (%) ^{注)}
国民平均	25.4
幼小児 (1~6 歳)	55.9
妊婦	19.5
高齢者 (65 歳以上)	25.3

注) TMD I 試算は、基準値案×摂取量の総和として計算している。

なお、高齢者については畜産物、妊婦については家きんの卵類の摂取量データがないため、国民平均の摂取量を参考とした。

- (4) 本剤については、平成 17 年 11 月 29 日付け厚生労働省告示第 499 号により、食品一般の成分規格 7 に食品に残留する量の限度（暫定基準）が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

トリフロキシストロビン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【トリフロキシストロビン】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
きゅうり (果実)	2	25%フロアブル	2500倍散布 250, 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A: 0.268 圃場B: 0.2
りんご (果実)	2	25%フロアブル	1500倍散布 600L/10a	4回	1, 7, 14, 21日	圃場A: 1.20 圃場B: 0.813
茶 (荒茶)	2	25%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A: 2.25 圃場B: 1.46
茶 (浸出液)	2	25%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A: 0.08 圃場B: 0.04
茶 (荒茶)	1	25%フロアブル	2000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A: 0.78
おうとう (果実)	2	25%フロアブル	2000倍散布 500L/10a	3回	14, 21日	圃場A: 0.86 (3回、21日) 圃場B: 0.96
もも (果肉)	2	25%フロアブル	2000倍散布 600, 400L/10a	3回	1, 7, 14, 21日	圃場A: <0.02 圃場B: 0.04 (3回、7日)
もも (果皮)	2	25%フロアブル	2000倍散布 600, 400L/10a	3回	1, 7, 14, 21日	圃場A: 9.10 圃場B: 10.4
西洋なし (果実)	1	25%フロアブル	2000倍散布 600L/10a	4回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 1.94
日本なし (果実)	1	25%フロアブル	2000倍散布 400L/10a	4回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 1.05
てんさい (根)	1	25%フロアブル	1000倍散布 100L/10a	3回	21日	圃場A: <0.02 (#)
てんさい (根)	1	25%フロアブル	1500倍散布 150L/10a	3回	21日	圃場A: <0.02
てんさい (根)	3	25%フロアブル	1500倍散布 150, 240, 250L/10a	3回	21日	圃場A: 0.010 圃場B: <0.005 圃場C: <0.005
てんさい (根)	2	25%フロアブル	400倍散布 25L/10a	3回	21日	圃場A: <0.005 圃場B: <0.005
ぶどう (果実)	2	25%フロアブル	500倍散布 500, 300L/10a	1回	132日 172日	圃場A: <0.01 (#) 圃場B: <0.01 (#)

最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

(#) これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

トリフロキシストロビン海外作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm) 【トリフロキシストロビン】			
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数 (日)			
ライ麦 (玄麦)	4	100 g/Lフロアブル	各回1 L/ha(0.1 kg ai/ha) 散布	2	56	圃場A: <0.01		
		125 g/L乳剤	各回2 L/ha(0.25 kg ai/ha) 散布		34, 41	圃場B: 0.05		
		187.5 g/L乳剤	各回1 L/ha(0.19 kg ai/ha) 散布		35, 47 34, 41	圃場C: <0.02 圃場D: <0.02(#)		
トリティケール (玄麦)	1	100 g/Lフロアブル	各回1 L/ha(0.1 kg ai/ha) 散布		35	圃場A: <0.01		
さやいんげん (さや付き子実)	12	50%顆粒水和剤	各回0.25 kg/ha (0.125 kg ai/ha) 散布	3	0, 1, 3, 6	圃場A: 0.09(3日)(#)		
					0, 1, 3, 5	圃場B: 0.10(3日)(#)		
					0, 1, 3, 5	圃場C: 0.17(3日)(#)		
					0, 1, 3, 6	圃場D: 0.13(3日)(#)		
					0, 1, 3	圃場E: 0.35(3日)(#)		
					0, 1, 3	圃場F: 0.11(3日)(#)		
		50%顆粒水和剤	各回0.4 kg/ha (0.2 kg ai/ha) 散布	2	0, 1, 3	圃場G: 0.18(3日)(#)		
					0, 1, 3	圃場H: 0.10(3日)(#)		
					0, 7, 14, 21	圃場I: 0.59(0日)(#)		
					0, 7, 13, 21	圃場J: 0.14(0日)(#)		
			0, 14	圃場K: 0.16(0日)(#)				
			0, 13	圃場L: 0.47(0日)(#)				
ぶどう(果実)	2	125 g/L乳剤	各回製剤1000倍希釈液(500-1500 L/ha)、(0.063-0.19 kg ai/ha) 散布	7	0, 3, 7, 14, 21, 28, 42	圃場A: 0.12(21日)(#)		
			各回製剤500倍希釈液(500-1500 L/ha)、(0.13-0.38 kg ai/ha) 散布			圃場B: 0.66(21日)(#)		
ぶどう(果実)	18	25%顆粒水和剤	各回750 g/ha(設定量) (0.15-0.21 kg ai/ha) 散布	8	0, 14, 28, 35, 42	圃場C: 0.29(28日)(#)		
		50%顆粒水和剤	各回375 g/ha(設定量) (0.17-0.19 kg ai/ha) 散布			圃場D: 0.52(14日)(#)		
		25%顆粒水和剤	1-7回目: 750 g/ha(設定量) 8回目: 800 g/ha(設定量) (0.20-0.23 kg ai/ha) 散布			0, 21, 35, 41, 48	圃場E: 0.52(21日)(#)	
		25.6%顆粒水和剤	各回750 g/ha(設定量) (0.19-0.20 kg ai/ha) 散布			0, 14, 28, 35, 42	圃場F: 1.2(28日)(#)	
		50%顆粒水和剤	各回375 g/ha(設定量) (0.17-0.19 kg ai/ha) 散布			0, 14, 28, 35, 42	圃場G: 1.0(14日)(#)	
		25%顆粒水和剤	1-7回目: 750 g/ha(設定量) 8回目: 800 g/ha(設定量) (0.19-0.20 kg ai/ha) 散布			0, 21, 35, 41, 48	圃場H: 1.8(21日)(#)	
		50%顆粒水和剤	各回375 g/ha (0.19 kg ai/ha)・散布			0, 7, 14, 28, 35	圃場I: 1.66(28日)(#)	
		25%顆粒水和剤	各回750 g/ha (0.188 kg ai/ha)・散布			35	圃場J: 2.0(#)	
		50%顆粒水和剤	各回375 g/ha (0.19 kg ai/ha)・散布			0, 7, 14, 31, 35	圃場K: 0.22(31日)(#)	
		25%顆粒水和剤	各回750 g/ha (0.188 kg ai/ha)・散布			35	圃場L: 0.18(#)	
		50%顆粒水和剤	各回製剤1000倍希釈液(500-1500 L/ha)、(0.063-0.19 kg ai/ha)・散布			7	0, 7, 14, 28, 41	圃場M: 0.81(28日)(#)
		25%顆粒水和剤	各回750 g/ha (0.188 kg ai/ha)・散布			6	35	圃場N: 0.05(21日)(#)
							40	圃場O: 1.8(#)
			41	圃場P: 2.24(#)				
			41	圃場Q: 1.68(#)				
			41	圃場R: 1.4(#)				
			8	0, 28, 35, 42, 49	圃場S: 0.25(28日)(#)			
					圃場T: 0.64(28日)(#)			
はくさい (葉球)	1	25%フロアブル	1500倍希釈液 150mL/株 土壌灌注	1	21	圃場A: 0.17(#)		
はくさい (葉球)	1	25%フロアブル	1500倍希釈液 300mL/株 土壌灌注	1	21	圃場A: 0.23(#)		
かき(果実)	1	25%フロアブル	2000倍希釈液・散布	3	22	圃場A: 0.11		
かき(果実)	1	25%フロアブル	2000倍希釈液・散布	4	14	圃場A: 0.22		
とうがらし (果実)	1	25%フロアブル	2000倍希釈液 2000L/ha・散布	3	1, 3, 5, 7	圃場A: 1.29(3日)		
とうがらし (葉)	1	25%フロアブル	2000倍希釈液 2000L/ha・散布	3	1, 3, 5, 7	圃場A: 63.37(3日)		

農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm) 【トリフロキシストロビン】					
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数 (日)					
いちご	5	50%顆粒水和剤	各回 400 g/ha (200 g ai/ha) ・ 散布(少水量)	3	0, 1, 3 0, 1, 3, 5, 7	圃場A: 0.665(1日)				
						圃場B: 0.278(1日)				
						圃場C: 0.125(1日)				
						圃場D: 0.238(1日)				
			圃場E: 0.135(1日)							
			各回 800 g/ha (400 g ai/ha) ・ 散布(少水量)		0, 1, 3 0, 1, 3, 5, 7	圃場A: 0.956(3日)				
						圃場B: 0.318(3日)				
						圃場C: 0.279(3日)				
						圃場D: 0.318(1日)				
			圃場E: 0.214(1日)							
			各回40 g/100 L (200 g ai/ha) ・ 散布(慣行水量)		0, 1, 3 0, 1, 3, 5, 7	圃場A: 0.920(1日)				
						圃場B: 0.247(3日)				
圃場C: 0.479(1日)										
圃場D: 0.480(1日)										
圃場E: 0.111(1日)										
各回80 g/100 L (400 g ai/ha) ・ 散布	0, 1, 3 0, 1, 3, 5, 7	圃場A: 1.538(1日)								
		圃場B: 0.617(3日)								
		圃場C: 0.644(1日)								
		圃場D: 0.805(1日)								
圃場E: 0.202(1日)										
バナナ (果実: 無袋)	2	50%顆粒水和剤	各回0.18 kg/ha (0.09 kg ai/ha)・ 散布	4	0, 1, 3	圃場A: 0.071(3日)				
	2	75 g/L乳剤	各回1.2 L/ha (0.09 kg ai/ha)・ 散布	4	0, 1, 3	圃場B: 0.18(3日)				
	2	500 g/Lフロアブル	各回0.18 L/ha (0.09 kg ai/ha)・ 散布	4	0, 1, 3	圃場A: 0.36(1日)				
バナナ (果実: 有袋)	2	50%顆粒水和剤	各回0.18 kg/ha (0.09 kg ai/ha)・ 散布	4	0, 1, 3	圃場B: 0.062(3日)				
	2	75 g/L乳剤	各回1.2 L/ha (0.09 kg ai/ha)・ 散布	4	0, 1, 3	圃場A: 0.126(3日)				
	2	500 g/Lフロアブル	各回0.18 L/ha (0.09 kg ai/ha)・ 散布	4	0, 1, 3	圃場B: 0.029(3日)				
バナナ (果実: 無袋)	2	50%顆粒水和剤	各回0.18 kg/ha (0.09 kg ai/ha)・ 散布	4	0, 1, 3	圃場A: <0.010				
	2	75 g/L乳剤	各回1.2 L/ha (0.09 kg ai/ha)・ 散布	4	0, 1, 3	圃場B: <0.010				
	2	500 g/Lフロアブル	各回0.18 L/ha (0.09 kg ai/ha)・ 散布	4	0, 1, 3	圃場A: <0.010				
バナナ (果実: 有袋)	2	50%顆粒水和剤	各回0.18 kg/ha (0.09 kg ai/ha)・ 散布	4	0, 1, 3	圃場B: <0.010				
	3	75 g/L乳剤	各回1.2 L/ha (0.09 kg ai/ha)・ 散布	4	0, 1, 3	圃場A: 0.29(0日)※				
	3	75 g/L乳剤	各回1.2 L/ha (0.09 kg ai/ha)・ 散布	4	0, 1, 3	圃場B: 0.19(1日)※				
キウイ	7	50%顆粒水和剤	500 g/ha (0.25 kg ai/ha)・ 散布	1	39, 55, 64, 72, 78, 85, 95, 149	圃場A: <0.02(149日) (#)				
						圃場B: <0.02(149日) (#)				
						39, 58, 65, 72, 80, 142	圃場C: <0.02(142日) (#)			
							32, 51, 58, 65, 73, 135	圃場D: <0.02(135日) (#)		
								圃場E: 0.06(128日) (#)		
						37, 58, 65, 80, 108, 142	圃場F: <0.02(142日) (#)			
			57, 64, 70, 78,		圃場G: <0.02(163日)					
					圃場A: <0.05 (#)					
			にんにく (鱗茎)		3	100 g/Lフロアブル	1.5L/ha (0.15 kg ai/ha)・ 散布	5	14	圃場B: <0.05 (#)
					グアバ (果実)	3	100 g/Lフロアブル	0.75 L/ha (0.075 kg ai/ha)・ 散布	5	圃場C: <0.05 (#)
										圃場A: <0.05 (#)
			圃場B: <0.05 (#)							
0, 5, 10, 20, 30	圃場C: <0.05 (#)									
	パッションフルーツ (果実)	3	125 g/L乳剤	1.6 L/ha (0.2 kg ai/ha)・ 散布	3	圃場A: <0.05 (#)				
						圃場B: <0.05 (#)				
圃場C: <0.05 (#)										
7 0, 3, 5, 7, 10	3	100 g/Lフロアブル	0.6 L/ha (0.06 kg ai/ha)・ 散布	4	圃場A: <0.05					
					圃場B: <0.05					
					圃場C: <0.05					
7 21	3	187.5 g/L乳剤	1.2 L/ha (0.225 kg ai/ha)・ 散布	3	圃場A: <0.05 (#)					
					0.75 L/ha (0.075 kg ai/ha)・ 散布	圃場B: <0.05 (#)				
						圃場C: <0.05 (#)				
1.2 L/ha (0.225 kg ai/ha)・ 散布	2	187.5 g/L乳剤	0.6 L/ha (0.225 kg ai/ha)・ 散布	3	圃場A: <0.05 (#)					
					1.2 L/ha (0.225 kg ai/ha)・ 散布	圃場B: <0.05				
						圃場C: <0.05				
1.2 L/ha (0.225 kg ai/ha)・ 散布	2	187.5 g/L乳剤	1.2 L/ha (0.225 kg ai/ha)・ 散布	3	圃場A: <0.05 (#)					
					0.6 L/ha (0.225 kg ai/ha)・ 散布	圃場B: <0.05				
						圃場C: <0.05				
0.6 L/ha (0.225 kg ai/ha)・ 散布	2	187.5 g/L乳剤	1.2 L/ha (0.225 kg ai/ha)・ 散布	3	圃場A: <0.05 (#)					
					1.2 L/ha (0.225 kg ai/ha)・ 散布	圃場B: <0.05				
						圃場C: <0.05				

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【トリフロキシストロビン】		
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数 (日)			
綿実 (種子)	6	125 g/L乳剤	1.6 L/ha 散布	3	21	圃場A:	<0.05	
						圃場B:	<0.05	
						圃場C:	<0.05	
		100 g/Lフロアブル	0.75 L/ha 散布	5	21	圃場D:	<0.05	
						圃場E:	<0.05	
						圃場F:	<0.05	
とうもろこし (穀粒)	27	125 g/L乳剤	124 g ai/ha (=50g AI/Acre)	4	29	圃場A:	<0.020 (#)	
						圃場B:	<0.020 (#)	
						圃場C:	<0.020 (#)	
						圃場D:	<0.020 (#)	
						圃場E:	<0.020 (#)	
						圃場F:	<0.020 (#)	
						圃場G:	<0.020 (#)	
						圃場H:	<0.020 (#)	
						圃場I:	<0.020 (#)	
						圃場J:	<0.020 (#)	
						圃場K:	<0.020 (#)	
						圃場L:	<0.020 (#)	
						圃場M:	<0.020 (#)	
						圃場N:	<0.020 (#)	
						圃場O:	<0.020 (#)	
		圃場P:	<0.020 (#)					
		圃場Q:	<0.020 (#)					
		圃場R:	<0.020 (#)					
		圃場T:	<0.020 (#)					
		圃場U:	<0.020 (#)					
		圃場W:	<0.020 (#)					
		圃場X:	<0.020 (#)					
		圃場Y:	<0.020 (#)					
		圃場Z:	<0.020 (#)					
		圃場AA:	<0.020 (#)					
		圃場HH:	<0.020 (#)					
		圃場SS:	<0.020 (#)					
		圃場VV:	<0.020 (#)					
				62 g ai/ha (誤って1/2量で処理したもの)	4	29	圃場A:	<0.020 (#)
				618 g ai/ha (=250g AI/Acre)	4	30	圃場F:	<0.020 (#)
えん麦(玄麦)	12	125 g/L乳剤	各回約0.5 L/ha (0.063 kg ai/ha)・散布	2	42	圃場A:	<0.02	
						圃場B:	<0.02	
						圃場C:	<0.02	
						圃場D:	<0.02	
						圃場E:	<0.02	
						圃場F:	<0.02	
						圃場G:	<0.02	
						圃場H:	<0.02	
						圃場I:	<0.02	
						圃場J:	<0.02	
						圃場K:	<0.02	
						圃場L:	<0.02	
						圃場M:	<0.02	
						圃場N:	<0.02	
						大豆(種子)	20	125 g/L乳剤
圃場B:	<0.01							
圃場C:	0.01							
圃場D:	<0.01							
圃場E:	0.01							
圃場F:	0.06							
圃場G:	0.01							
圃場H:	<0.01							
圃場I:	0.03							
圃場J:	<0.01							
圃場K:	0.01							
圃場L:	<0.01							
圃場M:	<0.01							
圃場N:	<0.01							
圃場O:	<0.01							
圃場P:	<0.01							
圃場Q:	<0.01							
圃場R:	<0.01							
圃場S:	0.03 (21日)							
圃場T:	0.02 (27, 33日)							

農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm) 【トリフロキシストロビン】					
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数 (日)					
らっかせい (Nutmeat)	5	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.14 kg/ha (0.07 kg ai/ha) ・散布	8	14	圃場A: <0.02 (#)				
					14	圃場B: <0.02 (#)				
					14	圃場C: <0.02 (#)				
					13	圃場D: <0.02 (#)				
					14	圃場E: <0.02 (#)				
					14	圃場F: <0.02 (#)				
	125g/L乳剤	各回製剤約0.6 kg/ha (0.07 kg ai/ha)・散布	8	14	圃場A: <0.02 (#)					
				14	圃場B: <0.02 (#)					
				14	圃場C: <0.02 (#)					
				13	圃場D: <0.02 (#)					
				14	圃場E: <0.02 (#)					
				14	圃場F: <0.02 (#)					
	12	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.14 kg/ha (0.07 kg ai/ha)・散布	8	14	圃場G: <0.02 (#)				
					14	圃場H: <0.02 (#)				
					14	圃場I: <0.02 (#)				
					14	圃場J: <0.02 (#)				
					14	圃場K: <0.02 (#)				
					17	圃場L: <0.02 (#)				
					14	圃場M: <0.02 (#)				
					15	圃場N: <0.02 (#)				
					14	圃場O: <0.02 (#)				
					16	圃場P: <0.02 (#)				
					14	圃場Q: <0.02 (#)				
					12	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha)・散布	8	0, 3, 7, 14, 21	圃場F: <0.02 (#)
14	圃場G: <0.02 (#)									
14	圃場H: <0.02 (#)									
14	圃場I: <0.02 (#)									
14	圃場J: <0.02 (#)									
17	圃場K: <0.02 (#)									
12	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.84 kg/ha (0.423 kg ai/ha) ・散布	8	14	圃場G: <0.02 (#)					
				14	圃場M: <0.02 (#)					
				ばれいしょ (塊茎)	15	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha)・散布	6	7	圃場A: <0.02
									7	圃場B: <0.02
									7	圃場C: <0.02
									7	圃場D: <0.02
0, 7	圃場E: <0.02									
7	圃場F: <0.02									
7	圃場G: <0.02									
7	圃場H: <0.02									
7	圃場I: <0.02									
7	圃場J: <0.02									
7	圃場K: <0.02									
7	圃場L: <0.02									
7	圃場M: <0.02									
7	圃場N: <0.02									
7	圃場O: <0.02									
6	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.56 kg/ha (0.279 kg ai/ha)・散布	4	0, 1, 3, 7, 14	圃場E: <0.02 (#)					
				圃場P: <0.02 (#)						
				各回製剤約1.66 kg/ha (0.834 kg ai/ha)・散布	4	0, 7	圃場E: <0.02 (#)			
						圃場P: <0.02 (#)				
各回製剤約2.8 kg/ha (1.396 kg ai/ha)・散布	4	0, 7	圃場E: <0.02 (#)							
			圃場P: 0.066(7日) (#)							
ラディッシュ (根部)	6	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha)・散布	2	7	圃場A: <0.02				
					圃場B: 0.036					
					圃場C: 0.058					
					圃場D: <0.02					
					8	圃場E: 0.041				
					圃場F: <0.02					
2	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.59 kg/ha (0.29 kg ai/ha)・散布	2	7	圃場A: 0.05					
				圃場B: 0.1						
				圃場C: 0.12						
				圃場D: <0.02						
				8	圃場E: 0.08					
				圃場F: 0.03						
ラディッシュ (葉部)	6	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha)・散布	2	7	圃場A: 2.6				
					圃場B: 6					
					圃場C: 7					
					圃場D: 0.08					
					8	圃場E: 0.34				
					圃場F: 0.25					
	2	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.59 kg/ha (0.29 kg ai/ha) ・散布	2	7	圃場A: 7.8				
					圃場B: 9.8					
					圃場C: 17					
					圃場D: 0.13					
					8	圃場E: 0.86				
					圃場F: 0.48					

農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm) 【トリフロキシストロビン】				
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数 (日)				
アスパラガス (可食部)	7	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha)・散布	3	92, 98	圃場A: <0.05			
					100	圃場B: <0.05			
					167	圃場C: <0.05			
					181	圃場D: <0.05			
					176	圃場E: <0.05			
					180	圃場F: <0.05			
					176, 188	圃場G: <0.05			
にんじん (根部)	10	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha)・散布	4	6	圃場A: 0.037			
					7	圃場B: <0.02			
						圃場C: <0.02			
						圃場D: <0.02			
						圃場E: 0.03			
						圃場F: 0.024			
						圃場G: <0.02			
						圃場H: <0.02			
					6	圃場I: <0.02			
					圃場J: 0.06				
トマト (果実)	15	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha)・散布	8	3	3	圃場A: 0.09(#)		
						0, 1, 3, 5	圃場B: 0.29(3日)(#)		
						0, 1, 3, 5	圃場C: <0.02(3日)(#)		
			各回製剤約0.84 kg/ha (0.42 kg ai/ha)・散布		圃場D: 0.07(#)				
						各回製剤約1.4 kg/ha (0.7 kg ai/ha)・散布	圃場E: 0.07(#)		
								圃場F: 0.49(#)	
			各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha)・散布		圃場G: 1.32(#)				
						圃場H: 3.49(#)			
							圃場I: 0.06(#)		
			各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha)・散布		圃場J: 0.06(#)				
						圃場K: 0.07(#)			
							圃場L: <0.02(#)		
								4	圃場M: 0.3435(3日)
								8	圃場N: 0.4265(3日)(#)
4	圃場O: 0.0684(3日)(#)								
8	圃場P: 0.086(3日)(#)								
4	圃場Q: 0.0663(3日)								
8	圃場R: 0.0957(3日)(#)								
ピーマン (果実)	6	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha)・散布	8	3	3	圃場A: 0.03(#)		
						0, 1, 3, 5	圃場B: 0.04(3日)(#)		
						圃場C: 0.12(3日)(#)			
							圃場D: 0.05(#)		
								圃場E: 0.14(#)	
						圃場F: 0.03(#)			
							圃場G: 0.27(#)		
圃場H: 0.05(#)									
	圃場I: 0.05(#)								
		とうがらし (果実)	6	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha)・散布	8	3	3	圃場A: 0.1562(7日)
4								圃場B: 0.0842(3日)(#)	
8	圃場C: 0.0374(3日)								
4	圃場D: 0.0541(10日)(#)								
8	圃場E: 0.1548(5日)								
4	圃場F: 0.1183(5日)(#)								
8	圃場G: 0.20(#)								
セロリ (茎葉)	9	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha)・散布	4	6	6	圃場A: 0.54		
						7	圃場B: 0.51		
						8	圃場C: 0.37		
						7	圃場D: 0.85		
						6	圃場E: 1.6		
						7	圃場F: 0.44		
						8	圃場G: 0.26		
						7	圃場H: 0.24		
						8	圃場I: 0.07(#)		
パパイヤ (果実)	4	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.28 kg/ha (約0.14 kg ai/ha)・散布	4	0	圃場A: 0.15(#)			
						圃場B: 0.28(#)			
						圃場C: 0.21(#)			
						圃場D: 0.21(#)			
ペカン (可食部)	5	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha) ・散布(慣行水量)	8	30	圃場A: <0.02(#)			
						28	圃場B: <0.02(#)		
		50%顆粒水和剤	各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha) ・散布(少水量)	8	30	圃場A: <0.02			
						28	圃場B: <0.02		
		125g/L乳剤	各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha) ・散布(慣行水量)	8	30	圃場C: <0.02			
						28	圃場D: <0.02(#)		
		125g/L乳剤	各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha) ・散布(少水量)	8	30	圃場E: <0.02(#)			
						28	圃場F: <0.02		
		30	圃場A: <0.02						
				0, 8, 15, 22, 29, 36	圃場B: <0.02				
		30	圃場C: <0.02						
				28	圃場D: <0.02				
0, 8, 15, 22, 29, 36	圃場E: <0.02								
		34	圃場F: <0.02						
30	圃場G: <0.02								

農作物	試験圃 場数	試験条件			最大残留量 (ppm) 【トリフロキシストロビン】	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数 (日)	
ピスタチオ	3	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha) ・散布(慣行水量)	4	7, 14	圃場A: <0.01
					7, 14	圃場B: <0.01
					3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場C: <0.01
	3	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha) ・散布(少水量)	4	7, 14	圃場A: <0.01
					7, 14	圃場B: <0.01
					3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場C: <0.01
アーモンド	3	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha) ・散布(慣行水量)	4	40, 49, 55, 63, 68	圃場A: <0.02
					63	圃場D: <0.02
					53	圃場E: <0.02
	3	50%顆粒水和剤	各回製剤約0.28 kg/ha (0.141 kg ai/ha) ・散布(少水量)	4	63	圃場A: <0.02
					62	圃場B: <0.02
					62	圃場C: <0.02

最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

(#) これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

※トリフロキシストロビンと代謝物Bをトリフロキシストロビンに換算したものの和

農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値			作物残留試験成績 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm		
米(玄米をいう。)	1.6※	4		5※	3.5※	アメリカ	
小麦	0.2	0.2		0.2	0.05	アメリカ	
大麦	0.5	0.5		0.5	0.05	アメリカ	
ライ麦	0.05		IT		0.05	EU	【<0.01-0.05(n=4) (EUライ麦)】
とうもろこし	0.05	0.05		0.02	0.05	アメリカ	【<0.020(#)(n=27) (米国とうもろこし)】
その他の穀類	0.05				0.05	アメリカ	【<0.02(n=12)(米国えん 麦)】
大豆	0.08	0.04			0.08	アメリカ	【<0.01-0.06(n=20) (米国大豆)】
らつかせい	0.05	0.05		0.02	0.05	アメリカ	【<0.02(#)(n=17) (米国らつかせい)】
ばれいしよ	0.04	0.04		0.02	0.04	アメリカ	【<0.02(#)-0.066(#) (n=15)(米国ばれいしよ)】
てんさい	0.05	0.05	○	0.05	0.1	アメリカ	<0.02(#) / <0.02 / 0.010, <0.005, <0.005 / <0.005, <0.005
だいこん類(ラディッシュを含む)の根	0.1	0.1			0.1	アメリカ	【<0.02-0.12(n=12) (米国ラディッシュ)】
かぶ類の根	0.1	0.1			0.1	アメリカ	【米国ラディッシュ参照】
西洋わさび	0.1	0.1			0.1	アメリカ	【米国ラディッシュ参照】
はくさい	0.5		IT		0.5	韓国	【0.17(#)/0.23(#) (韓国はくさい)】
キャベツ	0.5			0.5			
芽キャベツ	0.1			0.1			
カリフラワー	0.5			0.5			
ブロッコリー	0.5			0.5			
ごぼう	0.1	0.1			0.1	アメリカ	【米国ラディッシュ参照】
サルシフィー	0.1	0.1			0.1	アメリカ	【米国ラディッシュ参照】
その他のきく科野菜	3.5	4			3.5	アメリカ	【米国セロリ参照】
ねぎ	0.7			0.7			
にんにく	0.05		IT		0.05	ブラジル	【<0.05(#)(n=3) (ブラジルにんにく)】
アスパラガス	0.07				0.07	アメリカ	【<0.05(n=7) (米国アスパラガス)】
にんじん	0.1	0.1		0.1	0.1	アメリカ	【<0.02-0.06(n=10) (米国にんじん)】
パースニップ	0.1	0.1			0.1	アメリカ	
セロリ	3.5	4		1	3.5	アメリカ	【0.20(#)-1.6(n=9) (米国セロリ)】
その他のせり科野菜	3.5	4			3.5	アメリカ	【米国セロリ参照】
トマト	0.7	1		0.7	0.5	アメリカ	【<0.02-0.49(n=15) (米国トマト)】
ピーマン	0.5	0.5		0.3	0.5	アメリカ	【0.03-0.14(n=6) (米国ピーマン)】
なす	0.5	1			0.5	アメリカ	【米国トマト,ピーマン, とうがらし参照】
その他のなす科野菜	2.0	1	IT		2.0	韓国	【1.29(韓国とうがらし)】 【0.05-0.27(n=6) (米国とうがらし)】
きゅうり	0.7	1	○	0.3	0.50	アメリカ	0.268, 0.2
かぼちや	0.3	1		0.3	0.50	アメリカ	
しろり	0.3	1		0.3	0.50	アメリカ	
すいか	0.3	0.5		0.3	0.50	アメリカ	
メロン類果実	0.3	0.5		0.3	0.50	アメリカ	
まくわり	0.3	0.5		0.3	0.50	アメリカ	
その他のり科野菜	0.3	1		0.3	0.50	アメリカ	

農産物名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値			作物残留試験成績 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm		
未成熟いんげん	0.5		IT		0.5	EU	【0.09-0.59(n=12) (EUさやいんげん)】
えだまめ	0.08	0.04			0.08	アメリカ	【米国大豆参照】
その他の野菜	3.5	1			3.5	アメリカ	【米国セロリ参照】
みかん		0.3		0.5	0.6	アメリカ	
なつみかんの果実全体	0.5	0.3		0.5	0.6	アメリカ	
レモン	0.5	0.3		0.5	0.6	アメリカ	
オレンジ(ネーブルオレンジを含む)	0.5	0.3		0.5	0.6	アメリカ	
グレープフルーツ	0.5	0.3		0.5	0.6	アメリカ	
ライム	0.5	0.3		0.5	0.6	アメリカ	
その他のかんきつ類果実	0.5	0.3		0.5	0.6	アメリカ	
りんご	3	3	○	0.7	0.5	アメリカ	1.20, 0.813
日本なし	5	0.7	申	0.7	0.5	アメリカ	1.05
西洋なし	5	0.7	申	0.7	0.5	アメリカ	1.94
マルメロ	0.7	0.7		0.7	0.5	アメリカ	
びわ	0.7	0.7		0.7	0.5	アメリカ	
もも	0.2	2	○	3	2	アメリカ	<0.02, 0.04(果肉) / 9.10, 10.4(果皮)
ネクタリン	3	5		3	2	アメリカ	
あんず(アプリコットを含む)	3	2		3	2	アメリカ	
すもも(ブルーンを含む)	3	2		3	2	アメリカ	
うめ	3			3			
おうとう(チェリーを含む)	3	2	○	3	2	アメリカ	0.86, 0.96
いちご	0.2	2		0.2	2	オーストラリア	
ぶどう	5	3	○・IT	3	5	EU	<0.01(#), <0.01(#) 【0.12(#)-2.24(#)(n=20) (EUぶどう)】
かき	0.5	5	IT		0.5	韓国	【0.11, 0.22(韓国かき)】
バナナ	0.5	5		0.05	0.5	オーストラリア	【0.018-0.36(n=6) (豪州バナナ(無袋))】 【<0.010(n=6) (豪州バナナ(有袋))】
キウイ	0.02		IT		0.02	ニュージーランド	【<0.02(#)-0.06(#)(n=7) (ニュージーランドキウイ)】
パパイヤ	0.7	5			0.7	アメリカ	【0.07-0.28(n=4) (米国パパイヤ)】
アボカド		5					
パイナップル		5					
グアバ	0.05	5	IT		0.05	ブラジル	【<0.05(#)(n=3) (ブラジルグアバ)】
マンゴー	0.7	5			0.7	アメリカ	【米国パパイヤ参照】
パッションフルーツ	0.05	5	IT		0.05	ブラジル	【<0.05(#)(n=6) (ブラジルパッションフルーツ)】
その他の果実	0.7	5			0.7	アメリカ	
綿実	0.05		IT		0.05	ブラジル	【<0.05(n=6)(ブラジル綿 実)】
ぎんなん	0.02			0.02			
くり	0.04	0.04		0.02	0.04	アメリカ	【米国ヘカン,アーモンド, ピスタチオ参照】
ペカン	0.04	0.04		0.02	0.04	アメリカ	【<0.02(#)(n=15) (米国ペカン)】
アーモンド	0.04	0.04		0.02	0.04	アメリカ	【<0.02(n=6)(米国アーモン ド)】
くるみ	0.04	0.04		0.02	0.04	アメリカ	【米国ヘカン,アーモンド, ピスタチオ参照】
その他のナッツ類	0.04	0.04		0.02	0.04	アメリカ	【<0.01(n=6)(米国ピスタチ オ)】

農産物名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
茶	5	5	○			2.25, 1.46(荒茶) / 0.78(荒茶) / 0.08, 0.04(浸出液)
コーヒー豆	0.05		IT		0.05	【<0.05(#)(n=4) (ブラジル アメリカ)】
ホップ	40	20		40	11.0	
その他のスパイス	3.5	5			3.5	【米国セロ参照】
その他のハーブ	3.5	4			3.5	【米国セロ参照】
牛の筋肉	0.05	0.05		0.05	0.05	アメリカ
豚の筋肉	0.05	0.05		0.05	0.05	アメリカ
その他の陸棲哺乳類の肉類	0.05	0.05		0.05	0.05	アメリカ
牛の脂肪	0.05	0.05		0.05	0.05	アメリカ
豚の脂肪	0.05	0.05		0.05	0.05	アメリカ
その他の陸棲哺乳類の脂肪	0.05	0.05		0.05	0.05	アメリカ
牛の肝臓	0.05	0.05		0.05	0.05	アメリカ
豚の肝臓	0.05	0.05		0.05	0.05	アメリカ
その他の陸棲哺乳類の肝臓	0.05	0.05		0.05	0.05	アメリカ
牛の腎臓	0.04	0.04		0.04	0.05	アメリカ
豚の腎臓	0.04	0.04		0.04	0.05	アメリカ
その他の陸棲哺乳類の腎臓	0.04	0.04		0.04	0.05	アメリカ
牛の食用部分	0.05	0.05		0.05	0.05	アメリカ
豚の食用部分	0.05	0.05		0.05	0.05	アメリカ
その他の陸棲哺乳類の食用部分	0.05	0.05		0.05	0.05	アメリカ
乳	0.02	0.02		0.02	0.02	アメリカ
鶏の筋肉	0.04	0.04		0.04	0.04	アメリカ
その他の家さんの筋肉	0.04	0.04		0.04	0.04	アメリカ
鶏の脂肪	0.04	0.04		0.04	0.04	アメリカ
その他の家さんの脂肪	0.04	0.04		0.04	0.04	アメリカ
鶏の肝臓	0.04	0.04		0.04	0.04	アメリカ
その他の家さんの肝臓	0.04	0.04		0.04	0.04	アメリカ
鶏の腎臓	0.04	0.04		0.04	0.04	アメリカ
その他の家さんの腎臓	0.04	0.04		0.04	0.04	アメリカ
鶏の食用部分	0.04	0.04		0.04	0.04	アメリカ
その他の家さんの食用部分	0.04	0.04		0.04	0.04	アメリカ
鶏の卵	0.04	0.04		0.04	0.04	アメリカ
その他の家さんの卵	0.04	0.04		0.04	0.04	アメリカ
精米	0.9※			※		
米ぬか	7			7		
小麦ふすま	0.5			0.5		
干しぶどう	5			5		

平成17年11月29日厚生労働省告示第499号において新しく設定した基準値については、網をつけて示した。
 (\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。
 (#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

※「米」の基準値について;

Codex基準における「Rice」及び米国基準における「Rice, grain」については、「粳米」に対する基準値であり、我が国における「玄米」に相当する食品への基準は設定されていない。ただし、2004年のJMPRによる評価において、精米への加工係数が0.18と設定されているため、本剤については、粳米のCodex基準である5ppmに加工係数0.18を乗じ、「精米」の基準値として0.9ppmを設定することとした。

また、同様に、米ぬかへの加工係数が1.4と設定されており、これに基づきCodex基準として「米ぬか」に7ppmの基準値が設定されていること、及び、米の基準値設定のための試験データより、精米と米ぬかの重量比が88%:12%と算出されたことから、「米(玄米)」の基準値として1.6ppmを設定することとした。【精米(0.9 mg/kg×88%) + 米ぬか(7 mg/kg×12%) ≒ 1.64 mg/kg】

トリフロキシストロビン推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品群	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
米	1.6	296.2	156.3	223.5	302.1
小麦	0.2	23.4	16.5	24.7	16.7
大麦	0.5	3.0	0.1	0.2	1.8
ライ麦	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
とうもろこし	0.05	0.1	0.2	0.1	0.0
その他の穀類	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
大豆	0.08	4.5	2.7	3.6	4.7
らつかせい	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしよ	0.04	1.5	0.9	1.6	1.1
てんさい	0.05	0.2	0.2	0.2	0.2
だいこん類 (ラディッシュを含む) の根	0.1	4.5	1.9	2.9	5.9
かぶ類の根	0.1	0.3	0.1	0.1	0.4
西洋わさび	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
はくさい	0.5	14.7	5.2	11.0	15.9
キャベツ	0.5	11.4	4.9	11.5	10.0
芽キャベツ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
カリフラワー	0.5	0.2	0.1	0.1	0.2
ブロッコリー	0.5	2.3	1.4	2.4	2.1
ごぼう	0.1	0.5	0.2	0.2	0.5
サルシフィー	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のきく科野菜	3.5	1.4	0.4	1.8	2.5
ねぎ (リーギを含む)	0.7	7.9	3.2	5.7	9.5
にんにく	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
アスパラガス	0.07	0.1	0.0	0.0	0.0
にんじん	0.1	2.5	1.6	2.5	2.2
パースニップ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
セロリ	3.5	1.4	0.4	1.1	1.4
その他のせり科野菜	3.5	0.4	0.4	0.4	1.1
トマト	0.7	17.0	11.8	17.2	13.2
ピーマン	0.5	2.2	1.0	1.0	1.9
なす	0.5	2.0	0.5	1.7	2.9
その他のなす科野菜	2.0	0.4	0.2	0.2	0.6
きゅうり (ガーキンを含む)	0.7	11.4	5.7	7.1	11.6
かぼちや (スカッシュを含む)	0.3	2.8	1.7	2.1	3.5
しろうり	0.3	0.1	0.0	0.0	0.2
すいか	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
メロン類果実	0.3	0.1	0.1	0.03	0.1
まくわうり	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	0.3	0.2	0.0	0.7	0.2
未成熟いんげん	0.5	1.0	0.6	0.9	0.9
えだまめ	0.08	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の野菜	3.5	44.1	34.0	33.6	42.7
なつみかんの果実全体	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
レモン	0.5	0.2	0.1	0.2	0.2
オレンジ (ネーブルオレンジを含む)	0.5	0.2	0.3	0.4	0.1
グレープフルーツ	0.5	0.6	0.2	1.1	0.4
ライム	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のかんきつ類果実	0.5	0.2	0.1	0.1	0.3
りんご	3	105.9	108.6	90.0	106.8
日本なし	5	25.5	22.0	26.5	25.5
西洋なし	5	0.50	0.50	0.50	0.50
マルメロ	0.7	0.1	0.1	0.1	0.1
びわ	0.7	0.1	0.1	0.1	0.1

食品群	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
もも	0.2	0.1	0.1	0.8	0.0
ネクタリン	3	0.3	0.3	0.3	0.3
アンズ (アブリコットを含む)	3	0.3	0.3	0.3	0.3
すもも (プルーンを含む)	3	0.6	0.3	4.2	0.6
うめ	3	3.3	0.9	4.2	4.8
おうとう (チェリーを含む)	3	0.3	0.3	0.3	0.3
いちご	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0
ぶどう	5	29.0	22.0	8.0	19.0
かき	0.5	15.7	4.0	10.8	24.8
バナナ	0.5	6.3	5.7	4.4	8.9
キウイ	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
パパイヤ	0.7	0.1	0.1	0.1	0.1
グアバ	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
マンゴー	0.7	0.1	0.1	0.1	0.1
パッションフルーツ	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の果実	0.7	2.7	4.1	1.0	1.2
綿実	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
ぎんなん	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.04	0.0	0.1	0.0	0.0
ペカン	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0
クルミ	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	5	15.0	7.0	17.5	21.5
コーヒー豆	0.05	0.1	0.0	0.1	0.1
ホップ	40	4.0	4.0	4.0	4.0
その他のスパイス	3.5	0.4	0.4	0.4	0.4
その他のハーブ	3.5	0.4	0.4	0.4	0.4
陸棲哺乳類の肉類	0.05	2.9	1.6	3.0	2.9
陸棲哺乳類の乳類	0.02	2.9	3.9	3.7	2.9
家禽の肉類	0.04	0.8	0.7	0.6	0.8
家禽の卵類	0.04	1.6	1.2	1.6	1.6
計		677.7	441.6	542.3	684.8
ADI比 (%)		25.4	55.9	19.5	25.3

高齢者については畜産物、妊婦については家さんの卵類の摂取量データがないため、国民平均の摂取量を参考とした。
TMDI：理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

(参考)

これまでの経緯

- 平成13年 4月26日 初回農薬登録
平成17年11月29日 残留基準値の告示
平成19年 5月23日 農林水産省から適用拡大申請に係る事務連絡及び
基準値設定依頼（適用拡大：なし）
平成19年 6月 5日 厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に
係る食品健康影響評価について要請
平成19年 6月 7日 食品安全委員会（要請事項説明）
平成19年11月26日 第9回農薬専門調査会確認評価第二部会
平成20年 6月 3日 第39回農薬専門調査会幹事会
平成20年 6月26日 食品安全委員会における食品健康影響評価（案）の公表
平成20年 7月31日 食品安全委員会（報告）
平成20年 8月 1日 食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評
価について通知
平成20年12月 4日 薬事・食品衛生審議会へ諮問
平成21年 9月25日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

●薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

- 青木 宙 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授
生方 公子 北里大学北里生命科学研究科病原微生物分子疫学研究室教授
○大野 泰雄 国立医薬品食品衛生研究所副所長
尾崎 博 東京大学大学院農学生命科学研究科教授
加藤 保博 財団法人残留農薬研究所理事
斉藤 貢一 星薬科大学薬品分析化学教室准教授
佐々木 久美子 元国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
志賀 正和 元農業技術研究機構中央農業総合研究センター虫害防除部長
豊田 正武 実践女子大学生生活科学部食生活科学科教授
松田 りえ子 国立医薬品食品衛生研究所食品部長
山内 明子 日本生活協同組合連合会組織推進本部本部長
山添 康 東北大学大学院薬学研究科医療薬学講座薬物動態学分野教授
吉池 信男 青森県立保健大学健康科学部栄養学科教授
由田 克士 国立健康・栄養研究所栄養疫学プログラム国民健康・栄養調査プロ
ジェクトリーダー
鰐淵 英機 大阪市立大学大学院医学研究科都市環境病理学教授

(○：部会長)